学校番号	1008

令和８年度　教養科

教科	教養	科目	(学)中国語文化入門	単位数	２単位	年次	２・３年次
使用教科書	なし						
副教材等	改定新版　高校中国語（白帝社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・近年中国の人々との交流の機会も増えている。中国語を通して中国の人々の日常生活や文化などに触れ、理解を深め、国際人として生きる教養を身につける。
・外部から専門の先生がお越しいただきますので失礼が無いようにしてください。（教務部）

2　学習の到達目標

・中国語の発音をマスターし、簡単な会話能力を身につける。
・状況に応じたコミュニケーションができる。また中国文化について調べ、伝え合うことで、理解を深め、考察する力を養う。
・中国語を学習することを通じて、中国の様々な文化に対する理解を深め、中国語でコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・中国の日常生活でよく使われる言語表現を身につけ、文化や習慣に関する知識を深める。	・学んだ言語表現を使って、状況に応じたコミュニケーションができるようになる。 ・日中の文化や習慣の違いについて理解し、考察することができる。	・中国語や中国の文化・習慣等に興味を持ち、積極的に言語を学び、他文化を理解しようとする姿勢を身につけることができる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	導入 第1課から第5課	中国語の発音 動詞述語文 形容詞述語文 疑問文 否定文 自己紹介	a: ピンインを正しく読むことができる。 中国語の語順について、基本的な知識を身に付けている。 b:状況に応じて簡単な中国語で、相手に意思を伝えることができる。 c: 授業に積極的に取り組み、参加し、適切な振り返りや質問を行うことができる。	小テスト	小テスト 発表 提出物	発表 提出物 観察
2学期	第６課から第１０課	前置詞 時間を表す表現 可能を表す助動詞 相手の意向を尋ねる表現 許可を求める表現 中国と日本との文化比較①	a:前置詞の使い方、時間や可能を表す表現、相手の意向を尋ねたり許可を求めたりする表現について、基本的な知識を身に付けている。 b:基本的な文型をもとに、自己に合わせた表現をすることができる。 c:両国の文化について、積極的に調べたり考察したりして発表することができる。	小テスト	小テスト 発表 提出物	発表 提出物 観察
3学期	第１１課から第１２課	前置詞＋人＋動詞の構文 中国と日本との文化比較②	a:前置詞＋人＋動詞を使った表現等、やや複雑な文の使い方を理解し、状況に応じた適切な表現方法を身に付けている。 b:適切な疑問詞を用いて質問したり、会話を翻訳したり、複雑な表現を行うことができる。 c:中国語を使って積極的にコミュニケーションを取ろうとしている。文化の違いについて理解しようしている。	小テスト	小テスト 発表 提出物	発表 提出物 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度